

新型インフルエンザ総括会議 報告書(ポイント) 2010年6月 ～パンデミックの教訓を総括～

40人超の専門家と計7回討議
(尾身茂氏、岡部信彦氏らも構成員として参加)

発生前の段階からの体制強化を

- ◎ **法制化** 対策の実効性を確保するための法制化
- ◎ **ワクチン** 国産ワクチン生産体制の強化
- ◎ **検査体制** PCRを含めた検査体制などの強化
- ◎ **水際対策** 発生前の段階から対策の準備と実践
- ◎ **日本版CDC** 米国CDCなどを参考に感染症対策機関
- ◎ **医療体制強化** 感染症対策のための予めの人、モノ、金の支援
 - 医療従事者の死亡、後遺症等の場合の補償
 - 発熱センター等設置時に誤解を与えない名称
- ◎ **ホットライン** 国、地方、医師会、医療関係者等とのホットラインの予めの確認

(出典) 平成22年6月10日「新型インフルエンザ(A/H1N1)対策総括会議報告書」を基に長妻昭事務所で作成

令和3年2月16日
警察庁刑事局捜査第一課

警察取扱いの新型コロナウイルス陽性死体の内訳について

令和3年2月10日までに把握された261件の内訳は次のとおり。

| | |
|----------------|------|
| ○ 内因死 | 221件 |
| ・ 新型コロナウイルス感染症 | 114件 |
| ・ 肺炎 | 51件 |
| ・ その他 | 47件 |
| ・ 不詳 | 9件 |
| ○ 外因死 | 32件 |
| ○ 未確定 | 8件 |

※ 検案医等からの聞き取りにより把握されたもの。疑いがあるとされたものを含む。

(出典) 令和3年2月16日警察庁刑事局捜査第1課作成資料を基に長妻昭事務所でパネル作成